

未来社会をたくましく生きる心ゆたかな生徒の育成に向けて

龍ヶ崎市立長山中学校長 宮本 浩貴

新学期がスタートして3ヶ月になろうとしています。この間、生徒は学校行事や学年行事等に積極的に取り組み、よりよい人間関係が生まれ学年や学級のまとまりも出てきました。

先日は、この暑さの中、龍ヶ崎市総合体育大会が大きな事故もなく無事に終わることができ、生徒も大会をとおして充実感を味わうことができたようです。

これも、保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

さて、いよいよ学習に本格的に取り組んでいく時期になりました。毎日、授業を参観していると、生徒が学習課題をつかみ、一人一台端末等を活用しながら自力で解決する姿、グループやペアで話し合ったり、伝え合ったりする活動をとおして、学習課題を解決する姿等、授業デザインが少しずつ変わってきています。

生徒と教員が、これまで以上に学力向上に向けて、より一層変化しようとしていることが伝わってきます。

学力向上に対する本校のスタンスは、授業の在り方がベースにあり、生徒にとってよりよい授業を目指す教師の授業改善が重要であると考えております。そのため、教員の校内研修を6月下旬に実施します。

また、学力向上の基盤は学級経営にあります。道徳の時間や学級活動等による話し合いを形骸化させることなく、よりよい集団づくりと人間関係づくりを推進し、今後も生徒一人一人に居場所がある学級づくりを目指していきます。

改めて、私たち教職員一人一人が、授業に対する意識を変え、コーチングの考え方に立ち、生徒が自走・自立できるよう伴走しながら支援してまいります。

7月11日（金）は授業参観日となっております。ぜひ、学校に足を運んでいただき、生徒の様子をご覧いただけますと幸いです。